

【樹木の部屋】

ベニバナトキワマンサク（マンサク科トキワマンサク属

Loropetalum chinense var. rubrum）

和名：ベニバナトキワマンサク（紅花常盤満作）

別名：アカバナトキワマンサク（赤花常盤万作）

英名：Chinese fringe bush

マンサク目 常緑性・小高木

原産地：中国

花言葉：私から愛したい、靈感、おまじない

花の色：赤・紫赤・桃



← 写真-1 ベニバナトキワマンサク（桃）

撮影日：2016年04月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↘ 写真-2 ベニバナトキワマンサクの花（赤）

撮影日：2016年04月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

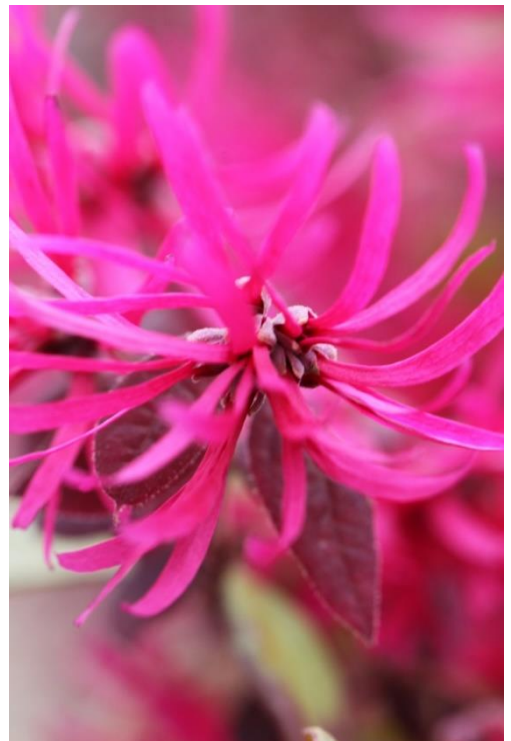
撮影者：M さん

↓ 写真-4 ベニバナトキワマンサク（赤）の蕾

撮影日：2016年04月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



郊外にあるマンションの浄化槽周囲に、目隠しを兼ねた生垣として利用されてきました。昨年の春には、気付かなかったのですが・・・どうやら、昨年春に植えられたようです。一際、目立っていました。

ベニバナトキワマンサクは、「トキワマンサク（常盤万作）」の変種で、紅紫色の花を咲かせます。美しい花色で鑑賞価値も高いことから、庭木にも広く利用されているそうです。

トキワマンサクは、マンサク科トキワマンサク属にただ1種のみ分類される常緑樹です。マンサク科の代表品種であるマンサクは、落葉性であるのに対し、常緑性であることから「常盤万作（トキワマンサク）」と名付けられたそうです。園芸店等でトキワマンサクとして出回っているのは、「ベニバナトキワマンサク」という変種で、1972年に中国で発見され、濃いピンク色の花を咲かせることから名付けられたそうです。

春になるとユニークな形の花を咲かせるトキワマンサク。常緑で、強い剪定にもよく耐えることから、好みの樹形にして楽しむことができます。葉っぱを密に茂り、樹高も低く抑えることができるので生垣にも最適です。ただ、株が蒸れると害虫の被害がしやすいので、時々剪定をして風通しをよくする必要があります。

<ちょっと一言>

* トキワマンサクとベニバナトキワマンサクの違い

花色：トキワマンサクは白、

ベニバナトキワマンサクは赤、桃

葉色：トキワマンサクは青、

ベニバナトキワマンサクは赤紫になる「銅葉」と緑色の「緑葉」。

* 増し方

挿し木で増やす事ができます。時期は梅雨の6月頃に、新しく伸びた10cmぐらいの挿し穂を利用します。一番下の節の葉を取って、葉の取った節が用土に埋まるように挿します。

* 剪定

自然と樹形が整うので特別な剪定はあまり必要ありません。生垣など樹形があまり乱れるようなら行います。

剪定の時期は花後から6月一杯までに。7月以降が花芽を作る花芽分化期なので、遅い時期に強い剪定をすると、花芽を切ってしまい来シーズンの花が減ってしまうので要注意です。